Manuscript Preparation Guidelines for Journal of Higher Education and Lifelong Learning: In the Form of a Template

Hanako Koto1) \* and Taro Kyoiku2)

1) Institute for the Advancement of Higher Education, Hokkaido University

2) Faculty of Education, ABC University

『高等教育ジャーナル―高等教育と生涯学習―』執筆要領  
―原稿作成用テンプレートを兼ねて―

高等　花子1) \*\*，教育　太郎2)

1) 北海道大学高等教育推進機構

2) ABC大学教育学部

\* Correspondence: Institute for the Advancement of Higher Education, Hokkaido University, Sapporo 060-0817, Japan  
E-mail: xxxxxxx@high.hokudai.ac.jp

\*\* 連絡先：060-0817　札幌市北区北17条西8丁目　北海道大学高等教育推進機構

Abstract – This document describes manuscript preparation guidelines for the Journal of Higher Education and Lifelong Learning, published by the Institute for the Advancement of Higher Education, Hokkaido University, and it provides a template for writing at the same time. This Word file enables contributors to create a manuscript that is formatted to be ready for submission. The editorial board of the journal asks all contributors to precisely follow these guidelines and template when they prepare their manuscripts. The template has a page setup of 23 characters × 42 lines × 2 columns per page according to the normal layout of the journal. Only the title part of the front page, where we are now, is not divided into two columns. Contributors are advised not to modify the page setup when they prepare manuscripts. For description and writing styles other than those described in this manual, please refer to the back issues of the journal.

（Accepted on \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*）

【原稿受理日は編集委員会で記入します】

1.　はじめに

　このWordファイルは，北海道大学高等教育推進機構が発行する『高等教育ジャーナル―高等教育と生涯学習―』の執筆要領であり，原稿作成のためのテンプレートも兼ねています。このテンプレートを使用すると，そのまま投稿可能な原稿を作成できます。投稿原稿は，この執筆要領およびテンプレートに従って作成してください。

2.　ページ設定について

　このファイルは，本誌の通常のレイアウトに合わせて，1ページあたり23字×42行×2段のページ設定としています。タイトルなどが入る1ページ目の表題部分は，Wordの書式設定上，別セクションとし，段組みのないページ設定としてあります。

3.　使用言語と分量

　投稿原稿は，日本語または英語のいずれかで記述してください。本文（図表を含む）は20,000字以内（英語の場合，5,000語以内）で書いてください。

4.　表記など

　原稿中，句点はマル「。」，読点はカンマ「，」で統一します。フォントは，本文中の見出し以外は基本的に標準サイズ（10.5ポイント）の明朝体を使用します。アルファベットや数字には，半角文字や欧文フォント1を使用してください。

　以下に説明するもののほか，記述や表記のスタイルは，バックナンバーを参照してください。

5.　表題部分

5.1　タイトル，著者名など

　原稿1ページ目の表題部分には，タイトルと著者の氏名，所属，連絡先を英文および和文で記載します2。連絡先については，刷り上がりでは1ページ目の脚注に入りますが，原稿では表題部分の所定の位置に記載してください。

5.2　英文概要（abstract）

　原稿には，150〜200語程度の英文概要を付けます。表題部分の最終部（本文の直前）に入れてください。

6.　章や節などの見出し

　本文中の見出しは，ゴシック体を用いて，章見出し「1.，2.，3，……」，節見出し「1.1，1.2，1.3，……」，項見出し「1.1.1，1.1.2，1.1.3，……」のように付けます。サイズは標準（10.5ポイント）のままで構いません。各見出しの前後は1行ずつ空けてください。

7.　図表

7.1　番号と挿入場所の指定

　図表がある場合，図1，図2，図3……，表1，表2，表3……のように番号を振り，それぞれにタイトルを付けます。原稿本文に，図表の挿入場所を指定してください（挿入場所に，当該図表の番号とタイトルをゴシック体で記入してください）。

7.2　原稿の作成

　図の原稿はJPEGなど標準的な画像ファイルで作成してください。

　表はWordの表作成の機能で本文中に直接作成するか，Excel形式で別途，原稿を作成してください。

8.　注

　本文を補足するためなどに必要だが，本文注で記述するのになじまない事柄は，注に盛り込みます。注は，本文中の該当箇所に上付き文字で「1，2，3，……」のように番号を振り，本文末に掲載します3。

　文献は次に記載する形式で示すこととし，文献の書誌情報を記すためだけに注を用いないでください。

9.　文献

9.1　引用・言及の方法

　文献を参照する場合は，引用・言及箇所の直後に（内村 2011），（O'Flaherty and Phillips 2005）のように，カッコ書きで著者名（個人の場合は姓）と出版年を入れます。著者名は2人までは中点「・」やandでつないで記載し，3人以上の場合は，「ほか（et al.）」など用いて筆頭著者以外を省略します。訳書の場合，原書と訳書の出版年を「=」でつなぎ，（Dewey 1963=2005）の形で記載します。

　複数の文献に同時に言及する際には，（小笠原 2016；山田 1996；Bond and Jing 2019）のように，セミコロンで区切ります。同じ年に出版された同一著者の文献を複数参照するときには，年次の後に「a，b，c，……」をつけて区別します。

　ウェブサイトを参照する場合，本文中では上と同様に（北海道大学 2021）のように表示し，文献リストには，著者名と情報の公開年（またはサイトの最終更新年），ページ名（コンテンツ名）のほか，URLと閲覧日を入れてください。

9.2　文献リスト

　原稿の末尾に，文献リストを掲げます。

　文献リストには，本文中で引用・参照した全ての文献の著者名，出版年，タイトル，掲載雑誌名，出版都市名（外国語文献のみ），出版社名などを記載します。リストでは，まず和文の文献を著者名の五十音順で記載し，次に外国語の文献を（欧文の場合，著者名のアルファベット順で）記載してください。

　和文の文献は，雑誌・単行本のタイトルは『　』で，論文や書籍の章のタイトルは「　」で囲みます。英文の文献は，雑誌・単行本のタイトルはイタリック体とし，論文や書籍の章のタイトルは標準書体で“　”で囲みます。

　文献リストの形式は，このテンプレートの末尾にある例を参考にしてください。

10.　原稿の提出

10.1　原稿

　原稿は，このテンプレートを用いてWordで作成し，下記の通り，オンライン投稿してください。図表のファイルがある場合は，それらも同時に提出してください。レイアウトに関してとくに指定がある場合は，PDFなどでレイアウト見本を作成し，原稿と同時に送付してください。

10.2　原稿提出先・問い合わせ先

　令和４年度より，本ジャーナルへの投稿はオンライン投稿となりました。下記システムからの論文の投稿をお願いします。

新規ユーザ登録

https://science-cloud.click/highedu/registration.php

マイページ

https://science-cloud.click/highedu/mypage/

　問い合わせ事項がありましたら、下記までお願いいたします。

〒060-0817 北海道札幌市北区北17条西8丁目

北海道大学高等教育推進機構高等教育研究部内

　高等教育ジャーナル編集委員会

電話 011-706-7520　FAX 011-706-7521

Eメール j-editor@high.hokudai.ac.jp

付記

　謝辞や研究助成に関する情報を入れる場合は，本文の直後，注の直前に，「謝辞」や「付記」などの見出しを置いて記載します。

　この執筆要領 兼 テンプレートは，本誌の既存の執筆要領とテンプレートに改訂を加えつつ両者を一体化し，2022年9月1日に新たに作成しました。

注

1　本テンプレートでは，Times New Romanを使用しています。

2　本テンプレート中の著者名や所属は，一部架空のものです。

3　注は，このように番号順に並べます。

文献

内村鑑三（2011），『後世への最大遺物　デンマルク国の話』，岩波書店

小笠原正明（2016），「北大方式の成立」，小笠原正明・安藤厚・細川敏幸編著『北大 教養教育のすべて：エクセレンスの共有を目指して』，東信堂，4-32

北海道大学（2021），北海道大学ウェブサイト，https://www.hokudai.ac.jp/（2021年8月1日閲覧）

山田定市（1996），「生涯学習計画化研究の基本的枠組み」，『高等教育ジャーナル―高等教育と生涯学習―』1，209-231

Bond, M. H. and Jing, Y (2019), “Socializing Human Capital for Twenty-First Century Educational Goals: Suggestive Empirical Findings from Multinational Research,” in Redding, G, Drew, A. and Crump, S eds., *The Oxford Handbook of Higher Education Systems and University Management*. Oxford: Oxford University Press, 40-63.

Dewey, J. (1915), *The School and Society, revised edition*. Chicago: University of Chicago Press（宮原誠一訳（2005），『学校と社会』，岩波書店）

O'Flaherty, J and Phillips, C. (2015), “The use of flipped classrooms in higher education: A scoping review,” *Internet and Higher Education* **25**, 85-95